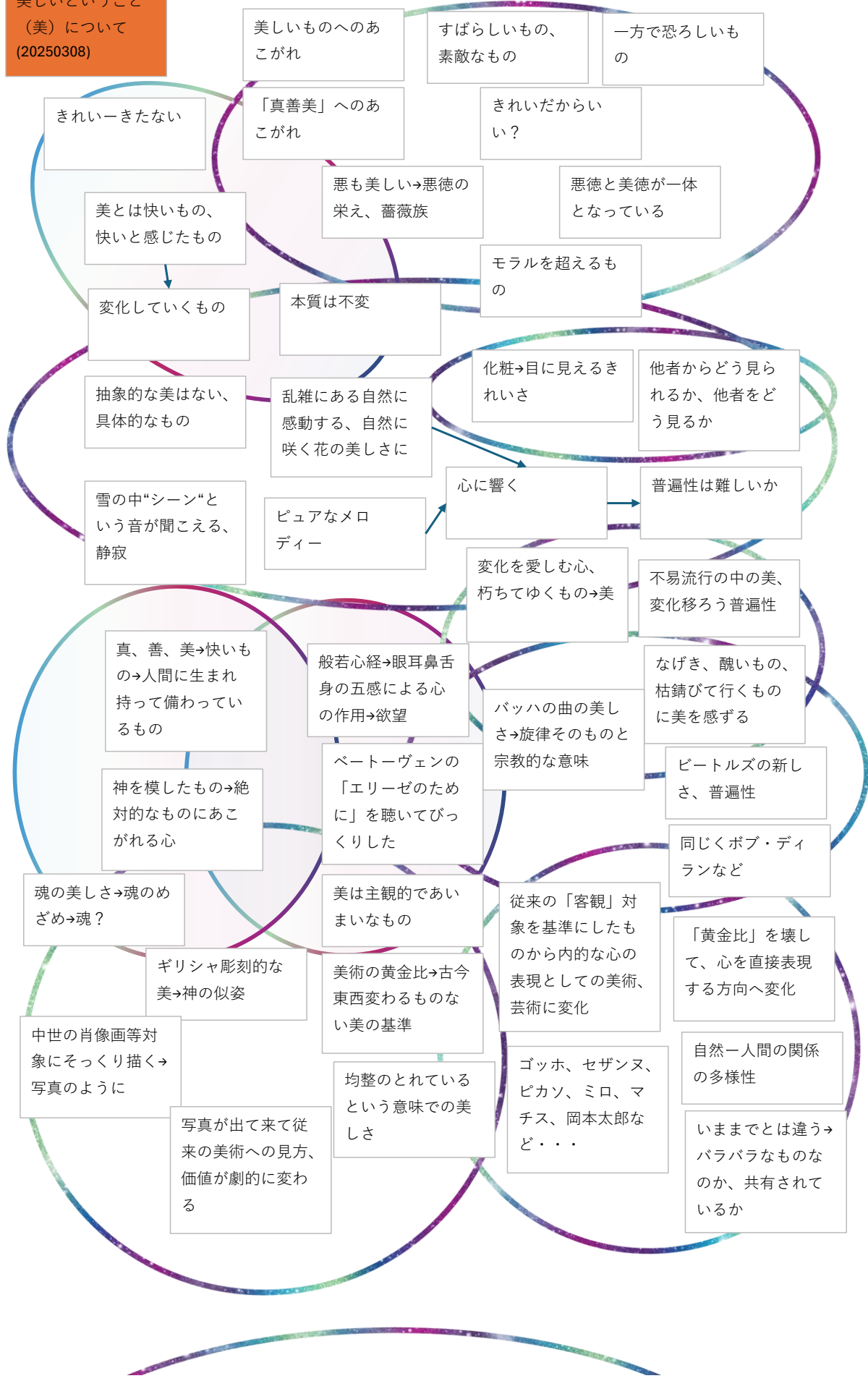


美しいということ
(美)について
(20250308)



lookism→本人と周りの目、自分が幸せになる

商業主義→売れるか売れないか

化粧する→美しくなるため、気分が出る

きれいになりたい、承認されたい、認められたい

美しい顔→見た目→その時代の潮流、理想像、区別がつかない

消費される美

最近整形することが当たり前のように

歌謡においても似たような状況

厚みのあるもの→魂に響く→美しい

宗教的な美、生き方

美は伝わるか

普遍的なものがあるか

排泄物も見方により汚くない、死体も同じ→自然に循環するもの

自然は連続し循環しているもの

言葉→概念(幻想)により連続性を断ち切っている

汚いもの→文化的に作られたもの

主観的で変わっていくもの

言葉以前の感情、叫び、詩情の表現→芸術

主観と主観、それぞれ見ているものが違うし、感動も評価も違う

美しいという感情、感動→もともと人間に備わっている

魂→一生懸命生きる→美しい

「辞書の中で最も美しい言葉は関税」→トランプ氏

「ともだち」といううつくしいことば→ともだちでないものにはしらんぷりしておこうよというみにしてはならない→ともだちをわけへだてを正当化する道具にしてはいけない(まどみちちの詩より)

「美しい」という言葉と感情には危ういところがある→作為的に作り出されもすることに注意する必要あり

